

令和 7 年度事業報告

精神障害にも対応した地域包括
ケアシステム構築推進事業について

●精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業

- 1 精神保健医療福祉体制の整備に係る事業
- 2 普及啓発に係る事業
- 3 当事者・家族等の活動支援及びピアサポートの活用に係る事業
- 4 障害者等の地域生活支援に係る事業
- 5 地域生活支援関係者等に対する研修に係る事業

1.精神保健医療福祉体制の整備に係る事業

保健・医療・福祉関係者等による協議の場の設置【必須】

令和7年度船橋市地域精神保健福祉連絡協議会

開催日	協議内容
8月7日（木）	・ 会長及び副会長の選任 ・ 令和6年度の取り組みについて ・ 訪問看護事業所の実態調査について ・ 令和7年度の取り組み（案）について ・ 精神保健福祉に関する協議会の合理化について

2.普及啓発に係る事業

普及啓発講演会

【目的】 精神障害の正しい知識の普及と地域住民の関心と理解を深める。

開催日	内容	講師	対象	受講者
9月18日（木）	「大人の発達障害～支援者に必要な合理的配慮とは～」 大人の発達障害と合理的配慮の考え方についての講義後、医師とピアサポーターのグループディスカッションを行った。	メンタルヘルス診療所 しっぽふぁーれ 医師 伊藤 順一郎氏	精神障害を持つ方を支援する民生委員及び障害福祉事業所等	53人

【アンケート】 参加者の約75%が「参考になった」「発達障害についての関心が高まった」と回答しており、講師の言葉や対談が心に残ったという言葉が多かった。

2.普及啓発に係る事業

心のサポーター養成研修

【目的】 精神疾患への正しい知識と理解を深め、メンタルヘルスの問題を抱える家族や同僚等に対する、傾聴を中心とした支援者を養成する。

開催日	場所	対象	受講者
12月16日（火）	東部公民館	市民、民生委員	114人
2月12日（火）	船橋市役所	市職員	143人

3.当事者・家族等の活動支援及び ピアサポート活用に係る事業

こころの家族交流会

【目的】 精神障害者を抱える家族が他の家族と思いや悩みを共有することで孤立感を軽減し、家族が元気になることを目的とする。

開催日	内容	参加者
12月11日（木）	オアシス家族会と共催で実施し、参加者のフリートーク（参加者の困りごとを共有し、他の参加者から対応策について提案や社会資源の情報提供等実施）と家族会と保健所の活動について紹介。	10人

3.当事者・家族等の活動支援及び ピアサポート活用に係る事業事業

家族のための学習会

【目的】 精神障害者を抱える家族が、疾患や治療について正しい知識を得る。

開催日	内容	講師	参加者
12月5日（金）	「統合失調症の病態・早期発見早期治療・家族の対応方法について」 「リカバリーストーリー、当事者の立場から見た家族の対応方法について」	・ 総武病院 院長 樋口 英二郎氏 ・ ピアサポーター	12人
2月9日（月）	「アルコール問題に対する家族の対応方法、病院での治療について」	・ 船橋北病院 看護師 川上 史子氏 ・ 菜の花会 ・ 家族の回復ステップ1 2	3人

4. 障害者等の地域生活支援に係る事業

精神保健福祉相談

精神保健福祉法第47条の規定に基づき、市長が委嘱した精神科医師、精神保健福祉士及び保健師により精神保健福祉に関する相談業務を実施した。

	電話	面接	訪問	精神科医師相談
令和3年度	4,899件	213件	372件	35件
令和4年度	4,989件	264件	407件	37件
令和5年度	4,707件	203件	398件	29件
令和6年度	4,084件	195件	453件	22件
令和7年度	4,063件	152件	499件	13件

5.地域生活支援関係者等に対する 研修に係る事業

精神障害にも対応した地域包括ケアシステム

構築推進部会に係る事例検討会（2回 参加者47人）

事例提供者から、事例検討シートに沿って、基本情報や支援内容の説明を聞いた後に、グループ毎に分かれて事例について話し合い。その後、グループ毎に意見を発表。

第1回 テーマ「宿泊型自立訓練を退所された方の振り返り」

第2回 テーマ「利用者の高齢化にどう対応していくか」